

令和6年有田市議会9月定例会 議案一覧

合計19件の付議案件を予定

【条例案件1件・予算案件4件・その他案件2件・人事案件2件・決算認定案件8件・報告案件2件】

【 条 例 関 係 等 】

議案 番号	件 名 及 び 内 容	所管課
38	有田市国民健康保険条例の一部を改正する条例 【改正理由】 国民健康保険法の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするものである。 【改正の主な内容】 マイナンバーカードと健康保険証の一体化により、令和6年12月2日より被保険者証の発行が廃止されることに伴い、被保険者証にかかる条文の削除を行うものである。 【施行期日】 令和6年12月2日	保険年金課
42	動産の買入れについて し尿搬送車の購入について、地方自治法第96条第1項第8号の規定により、議会の議決を求めるものである。 数 量 : 1台 買入れ予定価格 : 39,696,170円（消費税込） 買入れの相手 : 大阪府八尾市神武町1番50号 株式会社 モリタエコノス 関西支店 支店長 安田 弘	総務課
43	公の施設の指定管理者の指定について 【対象施設】 有田市民水泳場 【指定する団体】 大阪府大阪市中央区北浜四丁目1番23号 ありだスポーツコミュニティー創造パートナーズ 代表企業 ミズノスポーツサービス株式会社 代表取締役 薬師寺 洋彰 【指定の期間】 令和7年4月1日から令和12年3月31日まで	生涯学習課
44	教育長の任命について 現教育長・前田 悦雄 氏の任期が令和6年10月17日をもって満了となるため、引き続き同氏を任命することについて議会の同意を求めるものである。	総務課
45	固定資産評価審査委員会の委員の選任について 現委員・炭 敏彦 氏の任期が令和6年10月22日をもって満了となるため、引き続き同氏を選任することについて議会の同意を求めるものである。	総務課

令和6年9月定例会 補正予算案の概要について

■議案第37号 令和6年度有田市一般会計補正予算（第3号）・専決

一般会計補正予算額	1,835万8千円を増額
補正後の予算総額	210億9,748万1千円

令和6年度補正予算を令和6年7月22日付けで専決処分しました。

議員の欠員に伴う和歌山県議会議員有田市選挙区補欠選挙（8月23日告示）及び有田市議会議員補欠選挙（8月25日告示）の執行（9月1日投開票）に関し、投票所・開票所、ポスター掲示場等の関係費用を計上しています。（単位：千円）

補正額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
18,358		8,955			9,403

■議案第39号 令和6年度有田市一般会計補正予算（第4号）

一般会計補正予算額	3,147万5千円を増額
補正後の予算総額	211億2,895万6千円

新病院建設に伴う国道42号取付道路整備費に関する債務負担行為限度額の変更のほか、社会教育施設における消防設備修繕料、過年度災害復旧工事費の追加、地方債の追加などを計上しています。（単位：千円）

補正額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
31,475	5,306		1,500		24,669

<主な内容>

1. 国道42号取付道路整備委託料の増額【債務負担行為の変更】 ー建設課ー

新有田市立病院建設工事に伴う国道42号取付道路整備において、工法の変更等により事業費が増加することから、令和7年度における債務負担行為限度額1億5,100万円を4億7,000万円に変更します。

2. 文化福祉センター管理運営事業 ー生涯学習課ー 996万6千円

文化福祉センターにおける消火施設の老朽化に伴い、ハロゲン化物消火設備等の修繕料を補正します。

3. 河川災害復旧事業 ー建設課ー 517万5千円

昨年令和5年6月に被災した宮原町内の河川護岸1か所が、本年6月18日の豪雨により増破したことによる設計変更に伴い、追加工事費用を補正します。

なお、特定財源として、国庫補助金（補助率2/3）344万9千円及び市債150万円を見込み計上しています。

■議案第40号 令和6年度有田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） ー保険年金課ー

補正予算額1,773万1千円を増額

<主な内容>

令和5年度保険給付費等交付金の返還に要する費用を補正します。

■議案第41号 令和6年度有田市立病院事業会計補正予算（第1号） ー病院企画室ー

補正予算額1万円を減額

<主な内容>

新有田市立病院建設における収入更正及び企業債を減額することに伴う限度額の変更、また、老朽化に伴い令和7年度に購入する全身用エックス線CT装置8,800万円の債務負担行為を補正します。

令和5年度決算の概要

【決算第1号～決算第8号、報第3・4号関係】

一般会計の決算額は、歳入が228億5,926万7千円に対し、歳出は222億2万円です。この結果、6億5,924万7千円の黒字となり、繰越事業に伴い翌年度へ繰り越すべき財源7,661万8千円を差し引いた実質収支は5億8,262万9千円の黒字となりました。

歳入面では、繰入金が増加した一方で、市税や寄付金が減少したことや、有和中学校や新都市公園整備事業などの普通建設事業に伴う国庫支出金や市債が減少したことにより、歳入全体では前年度と比較して35億1,807万3千円（13.3%）減少しました。

歳出面では、物価高騰支援臨時給付金などにより扶助費が増加した一方、有和中学校や新都市公園整備事業などの普通建設事業費が減少したことにより、歳出全体では前年度と比較して34億6,080万5千円（13.5%）減少しました。

健全化判断比率は、実質公債費比率が7.9%ですが、早期健全化基準の25.0%を下回っており、将来負担比率は、令和5年度も発生していません。

また、公営企業の資金不足比率については、病院事業会計で11.5%の資金不足が生じています。

令和5年度各会計の決算（見込）

（単位：千円）

(単位：円)

	会 計 区 分		歳 入	歳 出	差 引	
決算第 1 号	一 般 会 計		22,859,267	22,200,020	659,247	
決算第 2 号	特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	3,914,415	3,828,894	85,521	
決算第 3 号		初 島 財 産 区	5,035	3,734	1,301	
決算第 4 号		漁業集落排水事業	66,322	60,070	6,252	
決算第 5 号		介 護 保 険	3,600,922	3,448,703	152,219	
決算第 6 号		後期高齢者医療	881,819	869,208	12,611	
		合 計	8,468,513	8,210,609	257,904	
決算第 7 号	企 業 会 計	上水道事業	収益的	524,614	457,072	67,542
			資本的	129,540	337,214	△ 207,674
決算第 8 号		病 院 事 業	収益的	535,763	595,729	△ 59,966
			資本的	316,379	301,213	15,166

健全化判断比率及び資金不足比率

（単位：％）

	区 分	実質赤字比率 （一般会計の 赤字割合）	連結実質赤字比率 （すべての会計を 合算した赤字割合）	実質公債費比率 （一般会計に おける借金の 実質負担割合）	将来負担比率 （一般会計において 将来負担すべき 借金等の割合）
報第3号	健全化判断比率	－	－	7.9(+0.7)	－
	*早期健全化基準	13.87	18.87	25.0	350.0
	*財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

【公営企業】

	区 分	上水道事業	病院事業	漁業集落 排水事業
報第4号	資金不足比率	－	11.5(△0.8)	－
	*経営健全化基準	20.0	20.0	20.0

（注）赤字や資金不足がない場合「－」と表示。（ ）内は令和4年度数値との比較。